

令和 7 年度一般財団法人狛江市文化振興事業団の施設利用、自主事業に関し、以下ご報告いたします。

施設の稼働率につきまして、前年比ではホールが 64.9%(1.4%減)、展示・多目的室が 58.1%(2.3%増)、リハーサル室が 78.3%(1.6%減) となっています。いずれも目標値である 63.9%は上回っています。

ホールおよびリハーサル室の稼働減については、使用区分の状況を見ると、午後区分の利用は前年度とほぼ同水準である一方、午前・夜間区分の稼働がやや減少しており、この部分が主な要因と考えられます。ただし、展示・多目的室については、2%台の増加となりました。

ホールの利用状況は例年と同様に、音楽や舞踊(バレエ、ダンス)関係の団体・個人が中心です。不定期ではありますが、企業の社内研修イベントなどの利用も引き続き見られます。また、市外の団体・個人による利用も変わらず多くあります。週末の貸し出しは受付開始と同時にほぼ埋まる状況ですが、平日の利用は一定以上には伸びにくい状況が続いています。

駅前立地という利点を活かし、今後も利用促進に努めてまいります。

自主事業につきましては、25事業・26公演(共催6公演、協力 1 公演を含む)を実施しました。

主な事業内容として、鑑賞型事業では、開館以来の定番であった春風亭小朝独演会を復活させたほか、不定期開催ながら8回目となる鼓童公演を実施し、公演に合わせて小中高校生を対象とした公開リハーサルも行い、71名が参加しました。また、ジャズの大西順子公演は完売となりました。さらに、開館30周年記念企画として注目度の高い、様々な企画を行いました。まず、狛江ゆかりの演奏家による「和こるま(邦楽系)アンサンブル」、「池田みさ子タンゴ・コンサート(ゲスト:溝口肇)」、ベートーヴェンをたたえるシリーズでは、世界的指揮者・山田和樹氏による合唱付きコンサート「ミサ・ソレムニス」、桐朋学園大学の企画協力による「ピアノまつり! 2」などを実施しました。ポピュラー系では、「トリプル・ハーモニー(大澤誉志幸、山下久美子、NOKKO)」を実施し、いずれも好評をいただきました。共催事業では、隔年実施で7回目となる小学生以上対象の舞台ワークショップ&公演「パフォーマンスキッズトーキョー」(共催:アーツカウンシル東京)、同じく7回目となる「ふれあいこどもまつり」(共催:ふれあいこどもまつり実行委員会)、地域住民を無料招待する東京都交響楽団による「SaLaD プレミアムコンサート」などを実施しました。

自主制作型事業では、13回目となるオープンハウスにおいて、市民委員および舞台音響専門学校の協力を得てバンドイベント「KOMAE ROCK FES.」を開催し、また、220 席限定のほっとライブを6公演実施しました。

また、教育委員会からの委託協力事業として、市立小学校児童を対象とした「公共ホール音楽活性化支援事業ガラコンサート」、市民まつりの一環としてのステージ企画を実施し

ました。支援型事業については、今年度は団体・若手ともに該当がありませんでした。
さらに新たな取り組みとして、展示・多目的室にてアート&カルチャー講座(全4回)を実施しました。

会員数は800名台半ばで推移しており、チケットのインターネット予約状況は公演対象の年代により差が見られ、会員は電話・窓口での予約が中心となっています。
今後も、施設の利用状況を的確に把握し、近隣施設との情報交換を行いながら、より効果的な事業実施に努めてまいります。